

平成24年度第1回 倫理審査委員会

平成24年7月23日

受付番号24-1

申請者	看護師	青木 明百
課題名	尿漏れに対して構造の違うおむつの比較	
研究の概要	尿漏れのある患者に対し、ギャザーやテープ等の構造が違うアウターを使用し、どの構造のアウターが尿漏れの回数が減少するかを比較することによって、患者にあったアウターを選択していきたい。	
判定	承認	

受付番号24-2

申請者	看護師	本多 佐友里
課題名	不眠のある重症心身障害児(者)に対する効果的なアロマの検討	
研究の概要	毎日不眠チェックを行っているが、寝つきが悪い患者や不眠を繰り返している患者がいる。睡眠は心身の健康のために必要不可欠であり、不眠はけいれん発作や異常行動を誘発する原因の一つにもあげられる。また、起きていることで昼間寝てしまう昼夜逆転の悪循環にもなる。そこで日本人に馴染みのある4種類のアロマを使用し、効果的なものを見つけ、不眠症状の改善・睡眠時間の延長をさせたい。	
判定	条件付承認	

受付番号24-3

申請者	看護師	鈴木 幸子
課題名	神経難病患者をケアする看護師の経年ストレス	
研究の概要	一般的に、看護師のストレスが高いことはこれまで多くの研究で報告されている。神経難病の多くは原因不明や治療方法が未確立のために経過が長期に及び、運動障害を中心とした症状が進行することから、患者の負担だけでなくケア提供者の負担も大きい。当該病棟の看護師のストレスを経年ごとに分析し、経験年数ごとに応じた対策をすることで職場環境・業務改善・教育に活かしたい。	
判定	保留	

受付番号24-4

申請者	看護師	及川 宏行
課題名	持続的グルコースモニターの導入に伴う病棟看護師の知識の向上を目指して	
研究の概要	新規導入となった持続的グルコースモニターについて、看護師間での正しい知識の共有が必要であると考えたために、マニュアルを作成、使用し知識の向上が図れたかをアクションリサーチを用い明らかにしたい。	
判定	条件付承認	

受付番号24-5

申請者	看護師	中村 利恵
課題名	CVポート挿入部の固定がずれる、体動の種類を知る －体動による固定のずれの検証－	
研究の概要	化学療法で入院される患者に、埋め込み型中心静脈カテーテル(以下CDポートという)から科学医療法を行っている。これまで2～3件/年、皮下への薬液漏れによるCVポート穿刺部のトラブルが起きている。先行研究による原因は明らかにされていないが、体動により針がずれたことが原因ではないかと考えた。そこで穿刺部のトラブルを防ぐため、ずれやすい体動状況を知ることで穿刺部にどう影響するかに着眼した。この研究により、固定がずれる体動を明らかにし、トラブルの減少を図り、患者が安全に治療を受けられるようにしたい。	
判定	条件付承認	

受付番号24-6

申請者	看護師	坂本 純子
課題名	外回り看護師の手指衛生行動に対する意識向上に向けての取り組み ～手指衛生行動に関する現状調査より～	
研究の概要	手術室の感染予防の為に外回りの看護師は、的確なタイミングで手指の消毒を実施しなければならない。以前、感染委員会で取り組んだ手指消毒薬の使用量調査後は一時的に増加したが、その後、スタッフの手指衛生に対する意識を継続して保てなかったため、使用量調査後は直ぐに減少した。そこで、アンケート調査や行動観察の実施により現在の実態を調査し、外回りの業務を実施している看護師の手指衛生に対する意識を高め、手術室の感染予防の向上を図りたい。	
判定	承認	

受付番号24-7

申請者	外科医長	伊藤 知和
課題名	StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX 6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	
研究の概要	<p>大腸がんの治癒切除を行った患者に対し術後補助化学療法として効果の認められているmFOLFOX 6療法、XELOX療法の効果を下げることなく、その投与期間を6ヶ月間から3ヶ月間へ短縮できるか調べることを目的としている。現在、同様の臨床試験がアメリカ、イギリス、イタリア、ギリシャおよびフランスの5カ国でも進行しているが、この投与期間を3ヶ月に短縮できる可能性を高い精度で調べるため、日本も含めた6カ国のデータを取りまとめて解析している。使用薬剤であるオキサリプラチンに起因する「感覚異常／知覚不全」や、カペシタビンに起因する「手足の皮膚障害」といった副作用が高率に現れるため、mFOLFOX 6療法、XELOX療法の効果を下げることなく投与期間を短縮することで副作用を減らすことができれば、より優れた治療法になる。</p>	
判定	承認	

受付番号24-8

申請者	外科医長	伊藤 知和
課題名	StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX 6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験・不随研究	
研究の概要	<p>L-OHPの特徴的な有害現象(アレルギー反応／アナフィラキシー、末梢神経症状等)と相関する日本人における遺伝子多型をゲノム薬理学の手法を用いて探索・同定することを目的とする。さらに、予後因子の探索も同時に行う。</p>	
判定	承認	

平成24年度第2回 倫理審査委員会

平成24年9月10日

受付番号24-3 (再)

申請者	看護師	鈴木 幸子
課題名	神経難病患者をケアする看護師の経年ストレス	
研究の概要	一般的に、看護師のストレスが高いことはこれまで多くの研究で報告されている。神経難病の多くは原因不明や治療方法が未確立のために経過が長期に及び、運動障害を中心とした症状が進行することから、患者の負担だけでなくケア提供者の負担も大きい。当該病棟の看護師のストレスを経年ごとに分析し、経験年数ごとに応じた対策をすることで職場環境・業務改善・教育に活かしたい。	
判定	条件付承認	

受付番号24-9

申請者	看護師	伴 和平
課題名	肥満傾向にある人工膝関節置換術を受ける患者の体重管理への関わり	
研究の概要	昨年1年間で人工膝関節置換術を受けた患者のうち、BMI値が25以上で肥満に該当する者は70.5%であった。体重増加は腰椎や股関節、膝関節に負担をかけ、新たな疾患に繋がる可能性が高い。入院中は栄養管理がし易い環境にあるが、退院後は日常生活に戻るため体重増加を招く恐れがある。患者自身が体重増加により人工膝関節に与える問題に気づき、意識が高められ自主的に行動に移すことで、体重コントロールの維持が可能になるのではないかと考えた。そこで、人工膝関節置換術を受ける患者に、入院時体重測定施行後、BMI、標準体重を知る事で、少しでも体重に関心が持てるように毎日の体重測定と、そのグラフ化を実施する。また看護師は体重コントロールのパンフレットを使用し、入院時・術後2週・退院時に指導を行うことで、患者の体重コントロールに対しどのような関わりがあったかを検証する。	
判定	承認	

受付番号24-10

申請者	看護師	小比類巻 敦子
課題名	与薬に対する看護師の意識調査	
研究の概要	<p>毎日の看護業務の中で内服投与は大きな役割を占める。予約手順に沿って業務をするだけでは内服変更の指示、指示受け忘れ、内服開始日時の間違い等のインシデントは防ぎきれない現状がある。当病棟では今年4月に続けて5件のインシデントが発生した。インシデントを起こした看護職経験年数や勤務帯は様々であった。この5件のインシデントをSHEL分析し、いくつかの要因が導き出された。当病棟は患者1人1人の処方薬が多いこと、多病棟とは配薬の方法が多少違うことから他病院との内服インシデントの要因に違いがあるのかを調査し、当病棟のインシデント減少に繋がればと考えた。</p>	
判定	条件付承認	

平成24年度第3回 倫理審査委員会

平成25年1月21日

受付番号24-11

申請者	作業療法士	大曾根 香
課題名	日常生活活動の観察から行う高次脳機能障害の評価(A-ONE)の信頼性と妥当性に関する検討	
研究の概要	日常生活活動の観察から行う高次脳機能障害の評価(A-ONE)の日本語版を作成し、その信頼性と妥当性について検討すること	
判定	承認	